

クスリ全般

Q 1 クスリの保存方法に、「冷所保存」や「室温保存」と書かれています。冷所保存は冷蔵庫で良いのですか？ また、夏の暑い時には部屋が35℃以上になりますが、室温とはどのくらいの気温ですか？

A 1 クスリは、温度・湿度・光などの影響を受けやすく、有効成分が変化して効果が低下したり、変質してしまう場合があります。クスリの保管方法として、保存温度には特に注意しなければなりません。通常「冷所保存:15℃以下」「室温保存:1~30℃」とされており、そのほかに「常温保存:15~25℃」と表示されることもあります。

冷所保存の必要なクスリには、水薬やシロップ、座薬、インスリンなどがあります。これらのクスリを家庭で保管する場合、多くは冷蔵庫を使用しますが、冷蔵庫の中でクスリが凍らないように保存してください。また、カプセルや錠剤、粉薬などを冷蔵庫で保管すると、結露などの湿気により効力を低下させてしまうこともあり、適していません。使いかけのペン型インスリン製剤も、結露を避けるため冷蔵庫には入れないでください。

多くのクスリは室温で保存しますが、乾燥

剤を入れた缶などに入れて、直射日光が当たらず、湿気の少ない涼しい場所に保存しましょう。飲みグスリは、体の中で溶けるように作られていますので、少量の水分でもやわらかくなったり変質したりします。

また夏の暑い時など、車内にクスリを放置するのはやめましょう。車内はクスリにとって過酷な環境です。室内でも35℃以上になる場合には、室温保存が難しくなりますが、家の中でなるべく湿気のない比較的温度の低いところを選び、保管してください。

最後に、クスリには最適な保存場所でも、普段目につかない場所では、毎日飲む大切なクスリを飲み忘れてしまう原因となることもありますので、工夫しながら最適な保存場所を選んでください。

(杉村昭文／
新都市医療研究会「君津」会 玄々堂君津病院・薬剤師)